

## インド

健康な森、健康な人々、気候変動プロジェクト  
西ガーツ北部の生物多様性保全と持続可能な生計支援  
現地からのお便り

2018年11月  
Applied Environmental Research Foundation (AERF)  
コンサベーション・インターナショナル

\*本プロジェクトは、インドの地元 NGO である Applied Environmental Research Foundation (AERF) が実施します。

### 保全契約に向けたコミュニティとのミーティング

Sangameshwar 地区の Katavali 村と Devade 村と保全契約を締結することができました。この保全契約の下で、76 エーカー（30 ヘクタール）の森林が保全され、3 家族が便益を受けるようになります。その他にも、Sayale 村、Washi 村、Nive Budruk 村で保全契約をアプローチの取り入れに向けて、村人たちとのミーティングを行いました。水田の農作業が忙しい季節であり、決定には家族のメンバー全員が集まらなければならないため、時間がかかっていますが、来期には更に多くの保全契約が締結できることを願っています。



Nive Budruk 村のメンバーと森

### 自生種の苗による森林再生

モンスーンの季節で雨が多く森林再生に適しているこの時期に、Kosumb 村、Vighravali 村、Kulye 村の聖なる森の空き地、そして Kalamabste 村、Kosumb 村、Muchari 村、Angavali 村の共用地に自生種の苗を植えました。合計で、33 種の 921 本の苗を植えて、柵で囲いました。この一年で、33 種の 4500 本の苗を苗畑で育てました。



Kulye の聖なる森の空き地に自生種の苗を植え付け

### バイオマスを使ったかまどの実演と販売

Wanjhole 村と Ambavali 村でバイオマスを使った改良かまどの実演を行いました。Ambavali 村での実演は盛況で、30 人の村人（主に女性）が参加し、12 個のかまどの予約が入りました。7 世帯は補助を受け、700 ルピー（約千円）で購入しました。女性たちの自助組織の巻き込みことができたことは、重要な進展です。



Ambavali 村でのかまどの実演と村長との話し合い